



平成28年2月1日発行

ヒルズ通信

第57号
社会福祉法人 景誠会
特別養護老人ホーム
ヒルズ勝沼

一丁目



「福よ来い」

年明けは梅の開花や、富士山に季節外れの農鳥現象が現れて驚きでした。さて、1丁目のお正月は新春福笑いゲームでスタートです。タオルで目隠しした入居者様は少し不安そうでしたが、いざ始まるとやる気満々です。「耳」や「目」を手渡すと「ここかな？」と首を傾けては手探りで、ここだとばかりに置いた「目」はなんと額の位置に！（笑）ちよっぴり変な顔でもユニークなお猿さん顔に皆爆笑でした。日差しを浴びるリビングには大きな笑い声が響き渡り、今年も笑顔で過ごすことが出来ます様にと願わ「ざる」には、いられませんでした。



8日には恒例のお餅つきも行われ、つきたてを召し上がって頂き、午後からはボランティア様による獅子舞が披露され、お正月気分を味わうことが出来ました。冬はお鍋の美味しい季節です。なかでも一番温まり体が良いとされるお鍋はキムチ鍋と言われているので、これからの寒い冬

を温かいお鍋で元気で乗り切りたいと思います。また、今年も今まで以上に入居者様との関わりを大切に盛り沢山の明るく楽しいニュースを発表出来ます様に職員一同努めて参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。（三枝 里子）



一丁目



「獅子舞がやって来た」

お正月気分も「あっ！」という間に過ぎ、もう2月になりました。施設では先月8日に「餅つき」が行われ、今年も富士吉田市より「新町獅子舞保存会」の皆様が獅子舞を披露してくださりました。7歳の小学生から82歳のおじいちゃん、18名の太鼓や笛の音色に合わせて、子供たちがかわいらしい獅子舞を着けて初々しく舞い踊りました。舞いの披露の後、多くの入居者様が獅子舞に頭を噛んでもらい、「キャー」と声をあげ、今年のご利益を頂きました。

その後、子供たちと一緒にぺったん、ぺったんとお餅をつき、あんころ餅・みぞれ餅・きな粉餅の3種類を用意し、どれも「美味しいね」と言いながら皆様が、沢山召し上がっていました。

最近とても寒い日が続いていますが体調を崩す方もおらず元気に毎日過ごされています。これからも二丁目職員一同心を込めてケアをさせていただきます。（大村 公江）

獅子舞



1月8日に行われたもちつき大会の際に「新町獅子舞保存会」様（富士吉田市 会長 渡邊久様）大人11名、小人7名の計18名様と「プルメリア加納岩」様（山梨市）5名様が施設慰問に来てくださいました。獅子舞の披露、もちつきのお手伝いをして頂きました。とても好評で来年も是非来て頂きたいです。

